

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	青少年課長	瀬谷 公重
こども-31	実施事業	青少年会館管理運営事業	■ 自治事務	主管課 青少年課
			□ 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	青少年育成	施策の方針	青少年の育成・支援

1 事業の目的

対象	青少年
意図	交流の場を提供することにより、青少年の自立を促すため。
効果	青少年の健全育成に寄与する。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

ニーズの高い小学生を対象とした講座を開設した。 鎌倉青少年会館及び玉縄青少年会館の維持管理を行った。 青少年会館のロビーを引き続き学習室として開放し、青少年の居場所とした。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		データ区分	02年度(2020年度)当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,308人	176,436人		人口	176,608人	
	世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	83,058世帯			
	事業の対象者数	41,769人	41,764人	事業の対象者数	41,849人			
運営資源状況	決算値(千円)	36,431	36,080	当初予算(千円)	24,684			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	1,920	1,495	その他	1,280			
	一般財源	34,511	34,585	一般財源	23,404			
	人員配置数	1.5	1.5	人員配置数	1.5			
事業費運営	人件費(千円)	12,312	12,968	人件費(千円)	16,550			
	総事業費(千円)	48,743	49,048	総事業費(千円)	41,234			
	市民1人当りの経費(円)	276	278	市民1人当りの経費(円)	233			
	対象者1人当りの経費(円)	1,167	1,174	対象者1人当りの経費(円)	885			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか 今後も市が実施すべき事業か	3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
	協働	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	青少年会館の自主講座に青少年が参加しやすい工夫が必要だが、経費を必要としない方法で行うため予算規模は現状維持とした。
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	
総評(評価に対する考え方、根拠等)	青少年が仲間や地域との交流、社会参画等を通じて、自己肯定感の持てる居場所づくりが必要である	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	平成27年3月に策定した「鎌倉市公共施設再編計画」で玉縄青少年会館(昭和45年建築)は、施設内の機能を順次他施設に移転し、平成32年度閉館に向けた利用団体への説明を行う。また、代替機能の確保が課題となっている。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	玉縄青少年会館にある玉縄子ども会館・子どもの家を玉縄小学校敷地内移転に向け、関係課との調整を行った。 玉縄子ども会館・子どもの家の移転後の利活用について、関係各課と協議をした。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	老朽化した公共施設はコストがかかることや、再編成の考えを理解してもらうよう努めるとともに住民の意見を踏まえ、集約や複合化を検討していく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	青少年会館設置数								
団体名	鎌倉市	横須賀市	三浦市	逗子市	葉山町				
他市実績	2	1	0	0	1				
			H28閉館	H28閉館					

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県から移管された青少年会館が多く、老朽化が進んでいる。
----------------------	-----------------------------

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	青少年会館利用者数						単位	人	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
青少年の参加しやすい講座の開設	目標値	52,200	52,300	52,400	52,500	52,600	52,700			
	実績値	52,845	55,041	53,715	51,496	47,113	38,496			
	達成率	101.2%	105.2%	102.5%	98.1%	89.6%	73.0%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	一般利用団体の使用取り下げや、新型コロナウイルス感染防止のため3月に休館としたため、減少となった
-----------------------	--